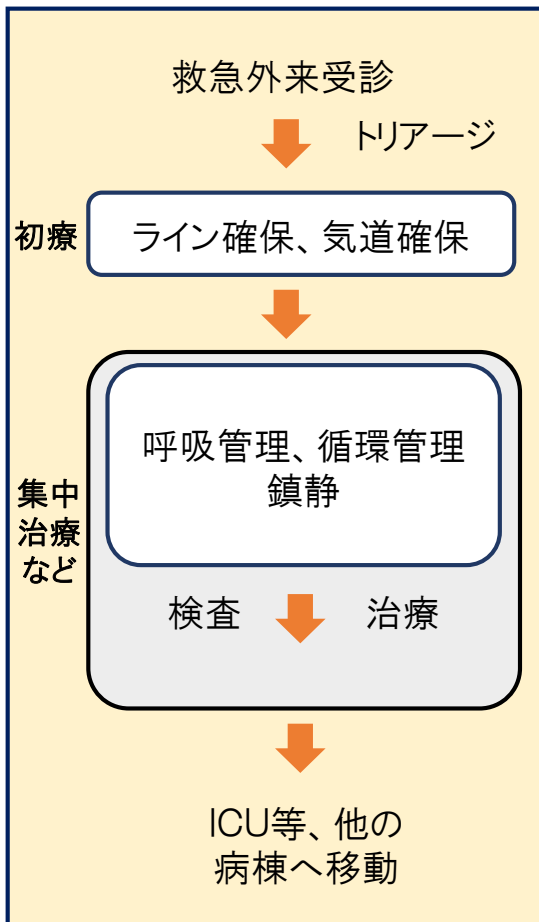


資料2 救急領域の領域別パッケージ研修(案)について

救急領域のパッケージ研修（案）について

迅速な対応が求められる2次又は3次救急医療の現場において、頻繁に行われる処置が必要な患者を想定し、救急領域の特定行為をパッケージ研修として組み合わせる。



特定行為 区分	特定行為	救急領域パッケージ		区分単位で 研修をした場合
		該当	時間数+症例数	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	9時間+5症例	9時間+5症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	29時間+5症例×4	29時間+5症例×4
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○		
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	○		
	人工呼吸器からの離脱	○		
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間+5症例×2	13時間+5症例×2
	橈骨動脈ラインの確保	○		
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	—	11時間+5症例	16時間+5症例×2
	脱水症状に対する輸液による補正	○		
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	○	14時間+5症例	26時間+5症例×3
	抗精神病薬の臨時的投与	—		
	抗不安薬の臨時的投与	—		
区分別科目 合計		9行為	76時間+各5症例	93時間+各5症例
総合計（時間数+症例数）		326時間+各5症例 （共通:250時間+区分別:76時間）		343時間+各5症例 （共通:250時間+区分別93時間）